

◆ミニボート規制の早期実現に向けて

遊漁における秩序ある海面利用の確保を求める意見書を6月議会に提案させていただきました。全員賛成で可決され、衆議院議長他関係大臣に送付されました。

これは免許・登録が免除された全長3・33m以下のボートで推進馬力が2馬力エンジンのミニボートが、伊根湾内外に多く出航し漁業者の操業や地元の方々の生活等に支障をきたしていることから国等に遊漁における秩序ある海面利用の確保について、次の事項の実現を速やかに進めるよう強く求めるものです。

1 沿岸漁業者の安全操業の確保とともに、海面利用者相互の安全及び事故による補償を確保するため、ミニボートを含む全ての小型船舶に対して対人・搜索保険への加入を義務づけるなど、必要な措置を講ずること。

2 船舶の取得時において、地域の漁業実態や海面利用についての講習を義務付けるなど、関係省庁が連携して沿岸漁業者の安全操業を確保するための必要な措置を講ずること。

また、意見書と同じような内容の要望書を自民党の二之湯参議院議員をはじめ関係議員に6月15日に提出させていただきました。



規制対象のミニボートの例

ミニボートの規制までには時間がかかるものと思いますが、一日でも早い規制に向け努力してまいりますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

◆平成25年第2回定例会(6月議会)の報告

平成25年第2回定例会は、6月11日から21日までの1日間の日程で開催され、平成25年度補正予算2件、条例の制定及び一部改正9件、その他の議案3件、発議1件、意見書1件を審議し、閉会しました。

予算総額 45億9,075万9千円

(補正予算額 2,548万円)

一般会計第1回補正

(予算額 30億7,320万7千円)

主な内容

(歳入)

府支出金 2,448千円

※地域包括ケア総合交付金、有害鳥獣捕獲関係事業補助金

繰入金 12,859千円

※財源不足分

諸収入 2,400千円

※伊根地区区長協議会分の「ミニユニティ助

成金

(歳出)

衛生費 5,783千円

※京都府地域包括ケア総合交付金事業他

商工費 1,000千円

※海の京都伊根町実践会議運営補助

(全員賛成で承認)

《質疑》

Q 日本で最も美しい村連合の総会に合わせ、衛生費で視察をするのはなぜか？

A 島根県隠岐地域で臨時総会が行われることから、町職員、公募者から参加を考えている。社会福祉、医療の連携の取り組みの先進的な事例地域でもあり、伊根町と同じような環境でもあることから臨時総会に便乗して視察を考えている。普段、単独での視察は難しいので100%の交付金を活用して視察としたい。

Q 先進地であるのなら視察人員は1名の参加でなくて、複数名参加した方が良いのでは？

A 検討する。
(全員賛成で可決)

国民健康保険特別会計第2回補正(予算額 4億9,584万3千円)

《伊根診療所勘定》

主な内容

(歳入)

繰入金 256千円

※財源補填繰入

(歳出)

総務費 88千円

※医療体制の確立による組替他

《本庄診療所勘定》

主な内容

(歳入)

繰入金 5,017千円

※財源補填繰入

(歳出)

総務費 4,670千円

※医療体制の確立による組替他
(全員賛成で可決)

◆伊根町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき本町に副町長を本部長とする新型インフルエンザ等対策本部を設置するもの。

◆伊根町子ども・子育て会議条例の制定について

子ども・子育て支援法の制定に伴い、本町においても同法に掲げる事務処理及び施策の審議を行うため制定するもの。

◆伊根町国民健康保険条例の一部改正について

平成25年度の課税標準額の確定により、乗率等の改正を行うもの。

Q 応能、応益の割合が50対50でないのはなぜか？

A 基本的には50対50であるが、今回は相対的に下げることとなった。割合は据え置きとし乗率を相対的に下げることとした。

Q 国保税は都道府県一元化となるよう進んでいる。賦課方式も資産割率を除いた3方

式となりつつある。そのような背景の中、資産割のみ上げるのはどうか。また、府下1、2を競う国保税の低い団体であるのに、国保税を下げるなかで、資産割のみ上げることには抵抗を感じる。50対50を用いないのなら、資産割を上げない方法も検討できたのではないか？

A 国保税一元化の動きや、府下でも3方式で賦課している所は比較的都市部である。郡部においては圧倒的に4方式が多い。平成30年度を目途に議論されていくと思う。一元化、3方式については運営協議会でも議論しておらず、今回は前年度同様としたが、今後の進め方として、国保財政の一元化、3方式、50対50の検討を早い段階から検討できる仕組みを作りたい。

◆伊根町福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について

助成対象を父子家庭の父と子を含む拡充措置に伴い改正を行うもの。

Q 3月議会の当初予算の時に質問したが当初予算に計上せず、補正予算対応との答弁であったが先に議決した補正予算に計上されていないのはなぜか？

A 母子家庭から一人親家庭に範囲を拡大するもので、予算も款・項・目・節それぞれ母子家庭を一人親家庭に改め対応することにも、父子家庭は7世帯8人の児童の分は同一目内で対応できる。また、父親はほとんどが社会保険加入者で見込みが立たないことと少人数のため予算補正は行わず、予算流用で考えている。

◆伊根町健やか子育て医療費の支給に関する条例の一部改正について

父子家庭の父と子が福祉医療制度の対象となったため、改正を行うもの。

◆伊根町伊根地区漁業集落排水事業受益者分担金に関する条例の一部改正について

伊根地区の集落排水施設の供用開始に伴い運用及び用語等について改正を行うもの。

◆伊根町集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

伊根地区の集落排水施設の供用開始に伴い改正を行うもの。

Q 建物を表示するときは番ではなく番地表示が正しいと思うが、条例上の処理施設の位置が番表記となっているが誤りではないか？

A 建物の表示は番地表示であった。1番4を1番地4と訂正し、議案も差し替えたい。

◆伊根町公共残土処分場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

10月1日から土砂の搬入車両の最大積載量を細分化し、適切な使用料を徴収するもの。

◆財産の無償譲渡について

本庄財産区有林を宮津地方森林組合に無償譲渡し、引き続き円滑な森林整備を行うもの。

Q 無償譲渡であるが有償譲渡とすればいくらかになるのか？

A 約170万円となる。

◆平成24年度定住化促進住宅平田団地新築工事変更請負契約の締結について

伊根町重要伝統的建造物群保存地区保存条例の規制による外壁などの変更に伴うもの。

Q 重伝建担当部署と設計段階で協議が済んでいると思われるが、なぜこの入居が押し迫った段階で、重伝建の関係で設計変更が必要なのか？

A 当初の設計段階で協議を行ったが、設計図面上で協議したものと工事の進捗で実際に使う材料とでイメージの差による変更が生じ、また単価も変わり変更となった。



◆伊根町特別職員の給与及び報酬等に関する条例並びに伊根町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について

◆物品購入契約の締結について

Q 住民としては、1円でも高く売ってほしいのでネットオークションを利用すべきだ。

A 1円でも高くという考えは解るがどんなものでもというわけにはいかない。

(いずれも全員賛成で可決)

※質問はすべて濱野がしたものです。

平成25年4月から6月の活動状況 ※一部のみ掲載しております。

4月1日	議会広報特別委員会
4月9日	小学校入学式
4月10日	中学校入学式
4月11日	議会広報特別委員会
4月13日	京都自民党青年セミナー(京都市)
4月22日	未来を語るセミナー(綾部市)
4月24日	議員研修会(与謝野町)
4月28日	岡西京都府副知事と意見交換(伊根町)
5月8日	総務委員会
5月8日	自民党議員団内視察
5月9日	臨時議会
5月13日	海の京都 伊根町実践推進会議
5月16日	伊根町商工会 通常総会
5月19日	拉致問題を考える講演会(与謝野町)
5月22日	海の京都 伊根町実践推進会議
5月26日	京都自民党青年意見交換会(京都市)
5月27日	じゃらんフォーラム2013(大阪市)
5月29日	コミュニティサイクル打合せ(京都市)
6月4日	観光地域づくりワークショップ(宮津市)
6月4日	議員団内視察
6月7日	和束町との友好推進に向けた交流会
6月9日	スポーツチャレンジフェスティバル
6月11日	定例議会
6月15日	自民党京都府連・総決起大会(京都市)
6月17日	海の京都 伊根町実践推進会議
6月21日	定例議会
6月24日	旧朝妻小学校跡地利用協議(伊根町)
6月30日	岡西京都府副知事と意見交換(伊根町)



自民党全国青年局長・小泉進次郎衆議院議員と再会を祝して！日本で最も美しい村 伊根町を積極的にPRさせていただきます。引き続き、あらゆるパイプを構築・駆使して京都・伊根町の声を国・府に届けていきます。



恒例の自民党議員団の京都府への町内工事要望箇所視察。命の道(大浦地区から亀山地区の裏山道)を説明させていただきました。

7回目の一般質問に登壇！

◆一般質問

一般質問の内容は以下のとおりです。

一日でも早い常勤医師の着任を！！

●診療所について

Q 進捗が遅れている診療所あり方検討会の進捗状況等について。

A 速やかにたたき台を作成し、委員会にお諮り検討頂くとともに会議概要についてはホームページ等に掲載していくことを検討する。

Q 来年4月1日には必ず医師に着任いただけるのか。また、着任いただけなかった場合は今後とも無医師の状態を継続するのか。

A 来年4月1日より常勤医師着任の

方向で鋭意努力している。万が一、更に着任が遅れるという場合は、府立医大・北部医療センターと常勤医師の招へい、派遣体制の充実等について相談・支援を頂く中で、地域医療の安定に努めていく。

●町職員の社会貢献や地域づくり活動への積極的な参加について

Q 社会貢献や地域づくり活動、自治会、PTA、消防団等の活動に参画することは、地域住民と意思を共有し、住民目線で行政を推進することに繋がる。積極的な活動参加を推進する考えはないか。

A 職員の地域づくりへの参画は大切だが、奉職である職員が通常の事務を終え、ボランティア活動として多くの団体、組織に関

与することは、やはり限度があり自己判断だと考える。

●災害情報発信基地の確保及び民間との支援協定について

Q 遠隔地自治体との情報発信に関する応援協定を締結する考えはないか。

A 災害情報のリスク回避について、京都府協定締結市町等と協議を行う場を設定し順序立てて検討を行っていく。

Q 災害協定や、産業振興、交通安全対策等、民間と相互に協力する包括協定について締結する考えはないか。

A 企業・団体の審査の必要はあるが、伊根町を応援頂ける申し出があれば、検討する。

編集後記

暑さ厳しき折ではございますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は私の活動に深いご理解と力強いご支援を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。引き続き、皆様の町政に対する思いを強く自覚し、これまで以上に皆さまと同じ視線で、議論し、行動し、汗をかいてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

皆さまのご意見・ご要望等をお聞かせ下さい。行政・議会に関するご相談は浜野しげきにお気軽にお寄せ下さい。

TEL 090-8827-3858

FAX 0772-32-0106

MAIL hamano_s_0630@yahoo.co.jp

Official web site 浜野しげき

<http://ameblo.jp/shige-king/>

Facebook ページ「伊根町議会議員 濱野茂樹」

<http://www.facebook.com/shigeki.hamano>



週に1回、午前7時より伊根町役場交差点に辻立ちさせていただいております。お見かけしたら、手を振っていただけると嬉しいです♪